

留 学 報 告 書

記入日： 年 月 日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部経済学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文：スタンフォード大学 現地言語：Stanford University
留学期間	2019年6月～2019年8月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年9月1日
明治大学卒業予定年	2022年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月上旬 - 12月中旬 2学期:1月上旬 - 3月中旬 3学期:3月下旬 - 6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 17000
創立年	1885

留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	円	備考
授業料	9016	979858 円	
宿舍費	2307	250724 円	
食費	1569	170518 円	
図書費	375	40755 円	
学用品費		円	
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	1519	165084 円	形態:学内
渡航旅費	2300	250000 円	
雑費	276	30000 円	
その他	322	35000 円	Visa 費用
その他	1840	200000 円	交際費、旅行費
その他	448	48688 円	大学関連の請求
合計	19972	2170556.96 円	

渡航関連

渡航経路: 飛行機

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 _____

復路 _____

合計 _____

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

ANA

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数 1)

3)住居を探した方法:

大学指定

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

大学指定で学内の寮しか住めないの、家探しをする必要がなく楽です。ただ、寮によって当たり外れがあるので、なるべく良い寮を希望に出しとくと良いです。おすすめは Branner house です。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった

利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

RA の方がいたのでかれらに相談しました。私は使用しませんでした、相談窓口もあり、評判も良かったです。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

私自身は特に事件に巻き込まれませんでした。危険情報は学校のメールや、全体グループを通じて共有されていました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学の wifi に特に不満はありませんでした。

5)現地での資金調達はどうに行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

親戚が近くに住んでおりましたので、口座開設や両替に苦労はしませんでした。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

ドレッシングやふりかけ、インスタント食品を持っていくことをおすすめします。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
8 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 3 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Minds and Machines	心と機械
科目設置学部・研究科	哲学部
履修期間	6/24 - 8/15
単位数	4
本学での単位認定状況	1 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	David gotlib
授業内容	汎用型人工知能とその構築について
試験・課題など	レポート、持ち帰り試験
感想を自由記入	予習の量が膨大にあり、かつその課題図書が複雑な論文や本だったりするので、予習を終了するだけでなく理解するには毎回数時間以上の準備が必要だった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Personality Psychology		性格心理学	
科目設置学部・研究科	心理学部		
履修期間	6/24 - 8/15		
単位数	3		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義 (チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 2 回		
担当教授	Elizabeth Blevins, Jackie Schwartz		
授業内容	性格構成に関する心理学		
試験・課題など	レポート、最終試験		
感想を自由記入	実学的かつ教科書も初歩的だったので、勉強に苦勞することは少なかった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Writing Workshop		ライティングワークショップ	
科目設置学部・研究科	言語学部		
履修期間	6/24 - 8/15		
単位数	1		
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 110 分が 1 回		
担当教授	Lisa Quijano		
授業内容	英作文の技法		
試験・課題など	レポート		
感想を自由記入	作文のクラスということもあり、一単位にも関わらず、課題の量が多かった。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	TOEFL 試験の準備
2019年 1月～3月	TOEFL 受験、留学選考に出願
4月～7月	VISA 取得、協定校出願、留学先渡航、留学中の中間試験
8月～9月	留学中の期末試験
10月～12月	

留学体験記

留学しようと思った理由	私が留学しようと思った理由は、自分の学部外の高レベルのものを高いレベルで学んでみたかったからです。海外の大学では、専攻がなかったり、あったとしても他学部の授業を自由に選択できます。そのため、教養以上の他学部授業を自由に受け、学ぶことができます。私が個人的に興味がある分野が私の専攻とあまり関係なく、大学で学ぶことが難しかったので、留学を通してそれを学ぼうと考えました。また私の興味ある学問は、海外の方が研究が進んでいるため、留学をしたほうがより高いレベルで学べると考えました。これらのことから私は留学しようと思いました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	私が留学してから、準備面で一番後悔したことは、抽象度の高い科目の予習をしなかったことです。抽象度の高い学問は、外国語以前に日本語で学ぶことですら、困難を極めます。そういったものを母国語の理解を飛ばし、いきなり自分の母語以外で理解しようとするには多大な時間と労力が必要です。私はこの準備を怠ったため、留学中は1科目に費やす時間が増え、履修科目を予定よりも減らす必要がありました。したがって、留学中の学びをより充実したものにするには、事前の予習が肝要だと思います。
この留学先を選んだ理由	私が本大学に留学を決めた理由は、人工知能を世界の最先端研究機関で学んでみたかったからです。スタンフォード大学は理系分野、特に人工知能の分野では世界のトップランナーの一つであり、人工知能界の著名な教授が数々在籍しています。また地理的にも、シリコンバレーに非常に近く、人工知能の発展を引っ張っている世界の名だたる企業がここに本社を置いて日々情報を交換したり、互いに研鑽し合っています。したがって、ここで人工知能を学ぶことは、学問のみならず、情報という側面でも人工知能の最先端に触れることができるのです。以上のことから、私はスタンフォード大学に留学することを決めました。
大学・学生の雰囲気	大学は穏やかで気候の良いカリフォルニアにあることから、学内の雰囲気も非常に穏やかで、大変恵まれた環境下で勉強をすることができました。また現地の学生は気さくな人が多く、好意的な印象を受けることが多かったです。一方勉強面では、皆真面目に勉学に励んでおりメリハリもしっかりしていました。このような場所で勉強することは、環境面でのストレスも少なく、かつ人からはいい刺激を受けることができたので、大変魅力的な雰囲気を持つ大学だと感じました。
寮の雰囲気	寮には世界各国からきた留学生が住んでおり、日々違う文化や考え方に触れることができ、飽きを感じられない寮生活になりました。また寮内には ra という寮生の生活面から勉強面まであらゆることの面倒を見てくれるリーダー的な学生がおり、様々な交流の機会や勉強の手伝いをしてもらったので、悩みや不満をためることなく生活することができました。
交友関係	私は共通の授業や同じ分野の授業をとっている生徒、もしくはルームメイトのオーストラリア人のコミュニティと時間を共にすることが多かったです。私はあまり社交的な方ではないのですが、授業内では必ず他の生徒と話すので、そこを通じて、話が合ったり、面白い人と仲よくなれる機会がありました。また、仲良くなった人の紹介で他の人も話す機会を作れたので、交友関係で苦労することはあまりありませんでした。他にもルームメイトが気さくな人で交友関係がひろいこともあったので、彼と行動を共にするだけで、自然と友人が増えていきました。
困ったこと、大変だったこと	私が留学先で苦労したことは、抽象度の高い科目の履修です。抽象度の高い学問は、外国語以前に日本語で学ぶことですら困難を極めます。そういったものを母国語の理解を飛ばし、いきなり自分の母語以外で理解度を深くするには多大な時間と労力が必要です。私は、そういった科目を事前に日本で予習することなく選択していたので、勉強や調べ物に費やす時間が増え、大変でした。
学習内容・勉強について	私は哲学、情報学、言語学などの抽象度の高い学問の知識が必要な科目を選択していたので、その予習復習に必要な時間と労力は多かったです。また、授業後に先生に質問をする時間があつたのですが、何がわからないかを判断するのにもある程度の理解が必要で、授業は高い集中力を維持して臨む必要がありました。一方、授業後に先生への質問でいい質問をしたり、自分の考えに興味を持ってもらえることもあつて、それらがより学習の意欲をかき立てました。
課題・試験について	私が選択した科目は他の人と比べても珍しく、試験の負担が少ないものが多かったです。しかしその一方で、日々の課題図書や復習の量が非常に多く、授業外での勉強が大変だったという印象が強いです。

大学外の活動について	短期のサマーセッションということもあり、大学外の活動はあまり行われていませんでした。
留学を志す人へ	残酷なようですが「留学をすれば、自分は変わる」ということではないと断言します。留学すると〇〇になるみたいな、留学を目的にするのではなく、あくまで自分が〇〇になる、変わるための手段として捉えることが留学に対する正しい認識だと考えます。留学はゴールではなく、あくまでアプローチの一つだということを頭に入れた上で、留学の重要性を考え、目的とのミスマッチがないか、もしくは目的に必要な不可欠であるどうかを考えて留学するかどうかを決めるのがいいと思います。ただ漠然と留学に行きたいと考えるのではなく、現在の自分と目標までの間に留学が必要だと確信できれば、現在と将来の間の道筋をより鮮明に可視化することができ、それはあなたのやる気や努力の量や質にも変わってくるのではないのでしょうか。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	自由時間 交流	自由時間 交流	自由時間 交流
	授業	授業	授業	授業	自由時間 交流	自由時間 交流	自由時間 交流
午後	授業	自由時間	聴講	聴講	自由時間 交流	自由時間 交流	自由時間 交流
	自由時間	自由時間	聴講	聴講	自由時間 交流	自習	自習
夕刻	交流会	交流会	交流会	自由時間	自由時間	自由時間	自習
夜	自習	自習	自由時間	自習	自習	自習	自由時間